

# 決算概要

カガクで  
ネガイを  
カナエル会社

**KANEKA**

平成26年3月期  
第1四半期

株式会社 カネカ

2013年8月8日(木)

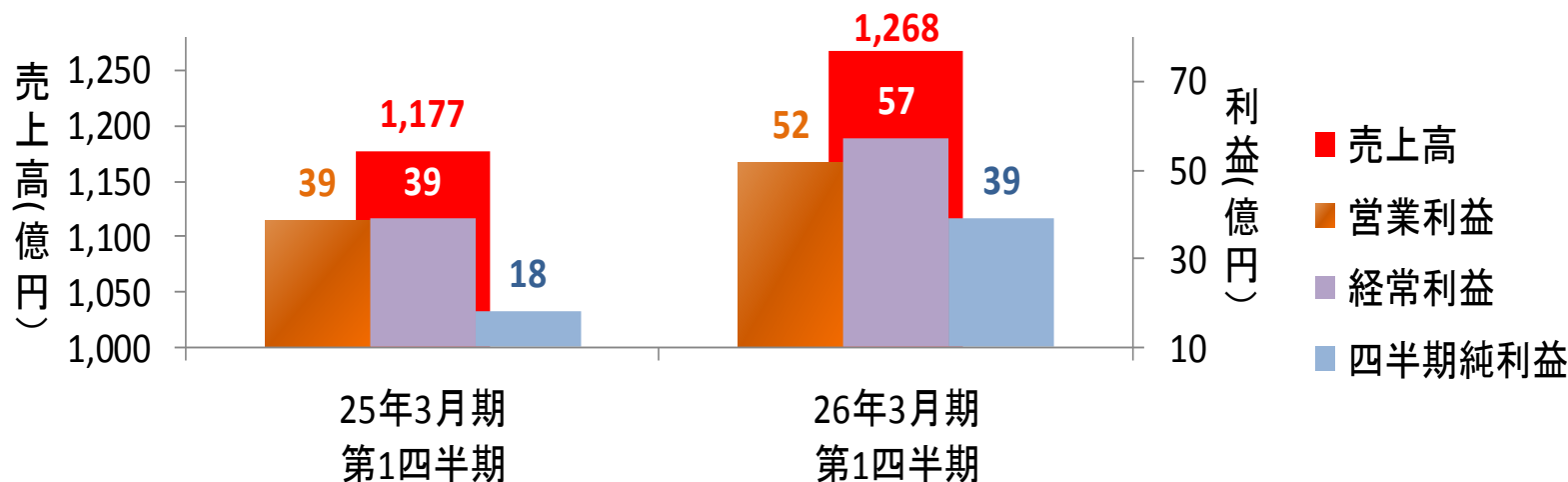
# 目次

§ 業績概要	P. 3
§ セグメント別事業概況	P. 4
§ 業績予想	P. 5
§ トピックス	P. 6

# 業績概要

- ◎対前年で増収、各利益段階とも増益。
- ◎R & D活動の強化、グローバル展開の促進、事業構造の変革への取組みが成果として現れてきた。

	2012年度 第1四半期	2013年度 第1四半期	増減
売上高	1,177	1,268	91
営業利益	39	52	13
経常利益	39	57	18
四半期純利益	18	39	21



# セグメント別 事業概況

◎ 7セグメント中、化成品、機能性樹脂、発泡樹脂製品、食品、エレクトロニクス、合成繊維、その他の、6セグメントが増収。営業利益は、機能性樹脂、食品、合成繊維、その他の3セグメントが増益、エレクトロニクスは黒字化。全セグメントで黒字。

- エレクトロニクス：超耐熱性ポリイミドフィルムの販売が増加。透明導電性フィルム（ITOフィルム）事業化。太陽電池の国内住宅市場向け販売が増加
- ライフサイエンス：還元型コエンザイムQ10の販売が増加
- 機能性樹脂：モディファイヤー、変成シリコンポリマーの販売が国内外で増加
- 合成繊維、その他：高付加価値品の拡販進む



(単位:億円)

	売上高		営業利益	
	25年3月期 第1四半期	26年3月期 第1四半期	25年3月期 第1四半期	26年3月期 第1四半期
化成品	244	257	13	8
機能性樹脂	182	204	16	20
発泡樹脂製品	141	153	6	6
食品	323	329	13	15
ライフサイエンス	105	105	19	10
エレクトロニクス	98	123	△7	5
合成繊維、その他	84	97	12	21
調整額	—	—	△34	△35
計	1,177	1,268	39	52

# 業績予想

	2013年度 第2四半期累計	2013年度 通期
売上高	2,400	5,300
営業利益	120	300
経常利益	110	280
当期純利益	60	150

◎ 第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、変更しておりません。

## (新規事業・新製品)

### ○スマートフォン、タブレットPC向け素材が拡大

- スマートフォン、タブレットPC用のタッチパネル向けに、需要が大幅に増大している透明導電性フィルム(ITOフィルム)を、今期新たに事業化しました。太陽電池をベースに培った薄膜形成技術、光学技術を活かして、高品質を実現しています。
- スマートフォンの高性能化とともに喫緊の課題となっている熱対策を解決する材料として、世界最高水準の熱伝導率を有するグラファイトシートの開発を進めてきました。昨年より本格的に採用され、急速な市場ニーズの拡大とともに、エレクトロニクス分野の主力製品となってきております。
- フレキシブルプリント配線板用途では、ポリイミドフィルム(PI)に、ポリイミドの接着層(TPI)を重ねた「ピクシオ」を開発し、独自の製法を強みに拡販を進めてきました。スマートフォンなどの市場の伸びとともに、急激に需要が増大しており、販売を大きく拡大させています。



両面配線薄型FPC

○薄膜三層型太陽電池モジュール商用生産開始

従来からの2層の発電層の間に新たにアモルファス系シリコンからなる層を追加した3層構造で大幅な出力向上を実現させた新商品を7月より本格販売しています。

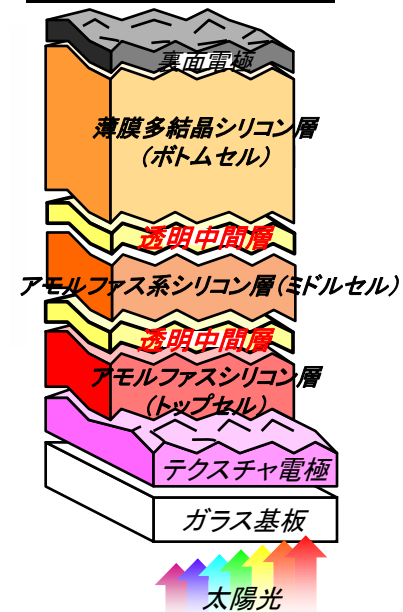
反射光の眩<sup>まぶ</sup>しさを抑えた防眩<sup>ぼうげん</sup>モジュール、意匠性にこだわった瓦一体型モジュール(当社品名・ヴィソラ®)、スレート瓦専用モジュール(当社品名・ソルティレックス®)等と組み合わせ、ソーラーエネルギー事業の更なる拡大を図ります。

ご参考: <http://www.kaneka.co.jp/service/news/130724>

防眩モジュール



○3層(3接合)



○有機ELパネル量産実証設備をOLED青森で増設

有機材料の真空蒸着工程において、量産が可能な設備としては世界で初めて面蒸着技術を取り入れた有機ELパネル量産実証設備を、100%子会社であるOLED青森株式会社に増設し、本年4月より稼働を開始しました。

ご参考:<http://www.kaneka.co.jp/service/news/130613>



## (グローバル展開)

### ○塩素化塩ビ樹脂(CPVC)事業、米国で生産能力増強

北米での旺盛な需要に対応すべく、100%出資子会社であるカネカノースアメリカLLCの塩素化塩ビ樹脂の生産能力を年産約20,000トン増強し、年産5万トン体制とすることを正式に決定しました。稼働は2015年の初めを予定しています。

ご参考:<http://www.kaneka.co.jp/service/news/130725>



### ○「アフリカン・フェア2013」へ参加

「第5回アフリカ開発会議(TICAD V)」の公式イベントとして、経済産業省、JETROの主催により、5月30日より6月2日にかけてパシフィコ横浜にて開催された「アフリカン・フェア 2013」に参加しました。カネカロンが使用されている頭髪装飾製品は30年余りにわたりアフリカの女性の皆様に多く着用されており、マスコミ各社にも取り上げられるなど、大変ご好評いただきました。

ご参考: <http://www.kaneka.co.jp/service/information/130514>



### ○南米での事業展開を加速、ブラジルに新会社を設立

南米での事業展開を加速するために、ブラジル連邦共和国サンパウロ市に現地法人を設立することを決定いたしました。会社設立は2013年8月を予定しています。

ご参考:<http://www.kaneka.co.jp/service/news/130619>



## ○インドネシアで加工油脂製品の製造・販売会社設立を決定

インドネシアの製菓・製パン市場でビジネス基盤を構築するとともに、食品事業の海外展開を推進するため、三菱商事株式会社と8月に合併基本契約を締結しました。本年10月に会社を設立し、12月の稼働を目指します。

ご参考:<http://www.kaneka.co.jp/service/news/130807>

## (グループ戦略)

### ○競争力強化、事業拡大を目指し、食品事業部門の販売会社を統合

当社連結子会社であるカネカ食品販売株式会社、東京カネカ食品販売株式会社、東海カネカ食品販売株式会社、九州カネカ食品販売会社の4社を2013(平成25)年7月1日付で統合させることを決定しました。4販売会社を統合することによって年商1,000億円規模の製パン・製菓向けを主体とした原材料問屋が誕生することとなります。新会社名はカネカ食品株式会社です。

ご参考:<http://www.kaneka.co.jp/service/news/130513>



**KANEKA**

カガクでネガイをカナエル会社